

プロトコール名 IRIS(トポテシン/TS-1併用療法)

- 進行・再発癌       術後補助化学療法       術前補助化学療法  
 大量化学療法       局所療法       その他(      )

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	イリノテカン(トポテシン・CPT-11)	100mg/m <sup>2</sup>	div	90分	d1, 15
2	S1(TS-1・テガフル/キメラシロテラルカリウム)	80mg/m <sup>2</sup> 朝夕分2 <1.25m <sup>2</sup> : 80mg/日 1.25~1.5m <sup>2</sup> : 100mg/日 >1.5m <sup>2</sup> : 120mg/日	経口	1日2回	d1~14

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	4週間
総コース数	可能な限り繰り返す
コース間での休薬の規定	

減量規定・中止基準	※Grade3以上の下痢 ※Grade3以上の好中球減少
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	なし
プレメディケーション・ポストメディケーション	プレメディケーション d1, 15にグラニセトリンバック3mg、デカドロン8mg投与

患者条件

- ・PS 0~2
- ・主要臓器に機能に大きな異常がない
- ・水様性下痢がない
- ・臨床上腸管狭窄がない

除外規定

- ・骨髄機能抑制のある患者
- ・感染症を合併している患者
- ・下痢(水様便)のある患者
- ・腸管麻痺, 腸閉塞のある患者
- ・間質性肺炎または肺線維症の患者
- ・多量の腹水, 胸水のある患者
- ・黄疸のある患者
- ・硫酸アタザナビル、フルシトシンを投与中の患者
- ・他のフッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

実施上の注意点

- ・75歳以上の高齢者には慎重投与
- ・CPT-11による高度な下痢が生じることがあるので、発現時は適切な止瀉薬を用いる。